

6次産業化の実践による女性の働く場の創出

湖東農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

農事組合法人つづらファームでは、平成27年に6次産業総合化事業計画の認定を受け、黒大豆加工品の開発を開始されました。法人理事が中心となって検討し、加工施設建設も計画中でしたが、6次産業化推進の経験やノウハウがないため、軌道に乗るまでの期間において、加工事業の運営について支援を求められました。そこで、平成28年度より「女性の活躍による地域の活性化」「十分な労務費を支払える経営の実現」を目標に3か年計画で取り組むこととしました。

【普及活動の内容】

経営意識の向上・目標の共有化のため、商品づくりを担う女性部員が高い経営意識を持って主体的に参画できるよう、理事とともに定期的に話し合う「経営会議」の開催を誘導しました。会議では現状・問題点の把握・目標達成の方策を検討し、その実践へ繋げました。当センターは事前に6次産業化理事と打ち合わせを行ったり、会議でデータを分かりやすくグラフ化して示し問題点を指摘するなど工夫し、積極的な改善策提案に努めました。

主力商品開発は、6次産業化プランナーを活用して支援しました。売上確保のため、集落での直接販売の場づくりや、近隣販売施設への営業、商談会への参加誘導等を行い、販路拡大を支援しました。また、労務費低減を中心とした、コスト削減にも取り組みました。加えて、優良事例等の研修を開催し、経営意識の向上、営業活動におけるスキルの向上をはかりました。

【普及活動の成果】

商品開発は、黒豆コロッケ、健康弁当、黒豆茶等5品目ができました。また、土曜朝市の開始や、販売店舗数の増加等により、年間販売額は114万円（H28）から329万円へ増加しました。さらに、価格の見直しや、加工作業の効率化等の実践により、労務費を低減でき、FL比率（販売額に占める材料費と労務費の割合）が400%（H28）から98.5%に減少しました。

今後の目標は「年間販売額 350万円」「FL比率 90%以下」です。経営会議の継続開催により、理事・女性部員で目標を共有し、その達成をめざしてより主体的・積極的に取り組めるよう支援し、女性の活躍促進、法人活動の活性化につなげていきます。

表 普及活動の内容

	H28	H29	H30
経営意識の向上 目標の共有化	検討会 (理事)	経営会議 (理事・女性部員)	
主力商品開発	→		
販路拡大	→		
コスト削減	→		

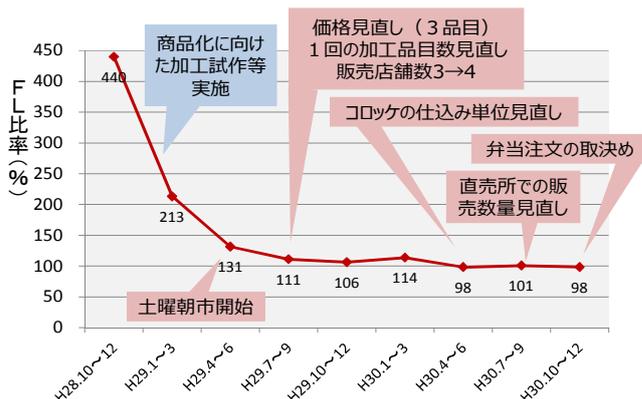


図 FL比率の推移

◎対象者の意見

理事、加工部員が共通認識の下で商品開発や販路拡大、労務費低減に向けた取組を実践できました（6次産業化担当理事）。